

2009 年度

花王・教員フェローシップ 生物多様性支援プログラム

ケニアのクロサイ 報告レポート

2009 年 10 月 24 日

世田谷区立 松沢中学校 教諭（理科） 花島宏明

1. プロジェクト概要

- ・プロジェクト名 : Saving Sweetwaters' Rhinos (ケニアのクロサイ)
- ・調査地 : KENYA Nanyuki Sweetwater
- ・主任研究者 : Dr. Geoffrey Wahungu (Moi University)
- ・調査期間 : 2009 年 8 月 4 日 (火) ~ 18 日 (火) [15 日間]
- ・出国期間 : 2009 年 8 月 2 日 (日) ~ 20 日 (木) [19 日間]
- ・調査の目的 : 絶滅の縁にあるクロサイを救うための生態調査。
- ・調査の概要 : クロサイだけでなく、大型哺乳類や植生の調査を行う。



1 . 応募から出発まで

- ・ 2008 年 12 月 29 日（月）～2009 年 1 月 5 日（月）初めてケニアのツアーに参加。旅行会社は国際航空旅行サービス㈱。千石正一先生の同行と解説のもと、マサイマラも国立公園などで大型哺乳類の観察を行った。
- ・ 2 月下旬、校内の回覧板で花王・教員フェローシップの募集要項を初めて知った。ケニアだけでなく他の調査地にも興味を持ち、募集要項をコピーし保管した。
- ・ 春休みを利用し、応募用紙と応募論文を作成。応募論文の指定されたテーマは「学校教育の現場で環境教育を進める上で、自然観察や自然体験がどのような意味があるか」と考えるか。指定の字数は 1000～1200 字のところ 1123 字で作成した。
- ・ 応募締切りの 4 月 10 日直前に F A X で応募した。今年度は仕事がとても忙しく、参加する時間的余裕があるかとても心配でしたが、合格する前に悩んでも仕方がないし、不合格ならあきらめがつくと思い、思い切って応募した。不合格の可能性も高いと思い、職場や妻には報告はしなかった。
- ・ 5 月 14 日（木）アースウォッチジャパンから職場に電話連絡がきた。第一希望のケニアに合格したと伝えられた。同時に、参加の意思を確認された。正直うれしかったが、仕事が忙しく「どうしよう・・・」と一瞬かなり悩んだ。しかし、チャンスだと思い参加する意思を電話で伝えた。
- ・ 電話のあった日の帰宅後、初めて妻に相談した。意外にあっさりと承諾してもらえた。むしろ、喜ばれた。
- ・ 5 月 15 日（金）合格通知書などの入った封筒【合格 Pack】が届いた。
- ・ 5 月 20 日（水）「海外旅行許可願」と「研修承認願」を職場に提出。承認研修願は都で却下されてしまったので、研修扱いにすることはできず、有給休暇を取って参加することにした。
- ・ 5 月 22 日（金）参加同意書などを F A X 送信。
- ・ 5 月 30 日（土）Personal Profile を英語で記入し F A X 送信。
- ・ 5 月 30 日（土）職場の近くの神馬クリニックで健康診断。Health Form を作成してもらう。
- ・ 渡航準備金 100,000 円が振り込まれた。
- ・ 6 月 3 日（水）J T B と国際航空旅行サービス㈱の 2 社に往復の見積を依頼。数日後、国際航空旅行サービス㈱に、航空券・査証（VISA）・空港からホテルまでの車の手配・ホテルの宿泊の手配を依頼。
- ・ 6 月 4 日（木）2 ヶ月前書類（Health Form ・ Liability Form ）を F A X 送信。

- ・6月9日(火) 日比谷クリニックで予防接種の相談。黄熱病は昨年接種していたので、今回は破傷風(1回)・A型肝炎(3回)・狂犬病(3回)の予防接種をすることにした。マラリアの予防薬メファキンは出国1週間前から帰国後3週間までの間、毎週1錠を服用。狂犬病の国産ワクチンでは間に合わなかったため、高価な輸入ワクチンを接種した。日比谷クリニックには現在までに111,700円を支払った。A型肝炎の予防接種を11月に予定しているので総額は120,100の予定。(幸か不幸か、結果から考えると予防接種を受けていなくても、これらに感染する可能性は極めて低かったと思われる。蚊には刺されてもいないし、見たこともなかった。)
- ・7月4日(土) 1ヶ月前書類(Travel Details)をFAX送信。

2. 出国～集合

- ・8月2日(日) 自宅から妻の運転で川崎駅のラゾーナに行き、ビックカメラで買い物をしてから昼食。その後、羽田空港へ向かう。ケータイレンタルのため、まず国際線ターミナルに行き、電話機を受け取ってから駐車場へ向かった。
- ・19:55 羽田発のコードシェア便 JAL185/EK6257 で関西国際空港へ向かう。
- ・関西国際空港で出国手続き。23:15 発の EK317 でドバイへ向かう。
- ・ドバイ国際空港では、ビールを飲むことが大変困難。売店では販売していないし、飲める店がかなり限定されている。しかも高価。(1杯10ドル)
- ・ドバイ国際空港では、エミレーツを利用して5時間以上の乗り継ぎの場合は、無料で食事ができるシステムがある。
- ・ドバイ国際空港では、携帯電話使えます。携帯電話の電源を入れてから圏外が表示が解消されるまでに少し時間がかかる。往路のときは電源を入れてすぐに圏外を確認してすぐに電源を切ってしまったので、ドバイは圏外で使えないと勘違いした。
- ・8月3日(月) 10:40 ドバイ発の EK712 でナイロビへ向かう。
- ・14:37 ナイロビに着陸。15:13 入国手続き完了。
- ・手配していた車で Fairview Hotel に向かう。渋滞が激しい。16:30 ホテルに到着し、チェックイン。
- ・夜はとても寒い、屋外での夕食のときには、ウェイターが炭火を席まで持ってきてくれるサービスがあった。
- ・19:35 フロントでお願いして、堀さんの部屋に電話をつないでもらう。20:30 にロビーで会う約束をした。予定時刻に初めて堀さんに会った。
- ・
- ・8月4日(火) 10:30 にチェックアウトを済ませ、集合場所で待機。11:00 の集合予定時刻前に、メンバー全10名がホテルのロビーに集合した。みんな積極的にあいさつや自己紹介をしていたが、全員が集合したら、あいさつや自己紹介をするものだと思っていた私は、この待ち時間は消極的に過ごしてしまった。しかしこの後、全員が集合してあいさつや自己紹介をする機会は一度もなかった。



4．集合～リサーチセンター

- ・ワンボックスカーの屋根に全員のスーツケースを積み終わると、車は Sweetwater に向けてあっけなく出発した。
- ・途中、土産屋やスーパーに寄ったり、昼食のためマス料理のレストランに寄ったりした。
- ・17：40、Ol Pejeta Conservancy のリサーチセンターに到着。施設の簡単な説明の後、早い者勝ちで部屋に私物を入れた。
- ・夜はフリータイム。

5．8月5日（水）

- ・調査の説明やトレーニング

6．8月6～13日、16日

- ・基本的には、午前中に各種調査（Field Work A~K）と調査データのコンピュータ入力、午後は野外観察など、夜は学習やゲームドライブを行った。

7．8月14日 Community Day

- ・ Ol Pejeta Conservancy の地域理解のために、各種の施設見学などをした。

8 . 8月 15 日 Rest

- ・ みんなで車をチャーターして、Aberdare National Park を訪れた。

9 . 8月 17 日

- ・ 午前中は Field Work。
- ・ 午後は Ol Pejeta のスタッフたちとサッカー。

10 . 8月 18 日 Departure

- ・ 記念撮影
- ・ Ol Pejeta を出発
- ・ Fairview Hotel に到着、解散。
- ・ Fairview Hotel でもう 1 泊。



11 . 8月 18 日

- ・ Nairobi National Park を単独見学 (Game Drive)

- ・ 16:40 ジョモケニヤッタ国際空港～EK720
- ・ 03:10 ドバイ国際空港～EK316
- ・ 19:15 関西国際空港～EK6252
- ・ 20:25 羽田空港～
- ・ 自宅

12 . 帰国後

- ・ 松沢中学校の理科の授業(公開授業・授業参観を含む)で活動報告を実施済み。(1年A組・1年B組・1年C組・3年選択理科)
- ・ 10月23日(金)世田谷区 中学校教育研究会の理科部会の教職員研修で活動報告。
- ・ 10月24日(土)花王・教員フェローシップ報告会。事前に報告書やプレゼン資料を提出。
- ・ 2010年3月、世田谷区立松沢中学校における松中祭(文化祭)での、ポスター展示・PowerPoint 自動再生。写真のスライドショー再生を実施予定。
- ・ 世田谷区中学校科学センターにおける活動報告を計画中。